



年 組 名前

道新 ワークシート

政官 ウオッチ

東京五輪マラソン・競歩札幌開催の余韻に浸る間もなく、札幌市は重い「宿題」を抱えたのではないかと。秋元克広市長が10日、2030年冬季五輪・パラリンピック招致に向けた大会概要計画の策定スケジュール見直しと内容の修正を表明し、そんな思いを持った。

札幌ドームでのサッカー予選を含め、市民に五輪競技に間に触れてもらい冬季大会招致への追い風にする。市が当初描いた思惑は、感染拡大が続く新型コロナウイルス対策で無観客、観戦自粛が求められ、肩透かしを食った格好だ。

秋元市長は「持続可能な五輪の開催がどうあるべきか」

冬季五輪招致へ重い宿題

り考える」と述べた。新たな概要計画の公表後には、市民との対話の場を設け、意向調査を行う考えも改めて強調した。

北海道新聞社が4月に市民を対象に行った世論調査で、冬季五輪の招致反対は1年前と比べ7割増の50%となり、賛成の48%を上回った。市幹部は「トランプ大統領が続いだった東京五輪後の今はさらに反対の声が強いのではないかとみる。東京五輪の開催理念・スローガンは「復興五輪」「コロナ克服」など二転三転。招致時の2倍を超えた大会経費の膨張に、不信を抱く市民も多いだろう。

「なぜ札幌か」「なぜ30年か」。誰もが納得できる概要計画を示し、今まで以上に言葉を尽くして説明する責務が市長にはある。

(平岡伸志)

2021年8月13日（金）朝刊 全道版 5ページ

①札幌市が冬季五輪・パラリンピック招致を目指しているのは何年でしょう。

②北海道新聞社が4月に行った世論調査では、冬季五輪の招致反対がわずかに賛成を上回っています。あなたは、冬季五輪の招致に賛成ですか。反対ですか。立場を選び、その理由を書きましょう。